

〒863-0002 天草市本渡町本戸馬場636  
 電話番号 0969-22-3668 FAX番号 0969-24-4393  
 電子メールアドレス amakusakaho@pref.kumamoto.lg.jp



## 牛伝染性リンパ腫の感染対策はしていますか？

牛伝染性リンパ腫（EBL）はウイルスの感染により起こる牛の伝染性疾患です。感染しても**多くは無症状**ですが、20～30%の感染牛が持続性リンパ球増多症（PL）を引き起こし、さらに**感染牛の2～3%が数か月～数年後に地方病型牛伝染性リンパ腫を発症**します。好発年齢は3歳以上（4～8歳）とされていますが、近年3歳未満での発症も少なくありません。

有効なワクチンや、発症牛に対する治療法はありません。したがって、**感染させないための対策が重要**です。

### 牛伝染性リンパ腫（EBL）の感染経路

垂直感染

- ① 胎盤（子宮内）感染：過去の報告では、**PL発症牛の場合、30～40%で胎盤感染が確認**されています。
- ② 産道感染：出血を伴う出産時に感染リスクが高まると考えられ、**感染牛の約8%で産道感染が認められている報告**もあります。  
 ※プロウイルス量が2,000コピー/50ng以上の感染牛から生まれた子牛の約48%が子宮内または産道で感染していたという報告もあります。
- ③ 乳汁感染

水平感染

- ① 吸血昆虫による伝播：感染牛を吸血した昆虫（アブ、サシバエ）の口器にウイルスを含む血液が付着したまま、次の牛へ吸血することによって感染します。
- ② 医原性感染：注射針や直検手袋の使いまわしにより感染が成立します。また、出血を伴う除角、削蹄、去勢、耳標等の装着などで使用する器具によっても感染します。
- ③ 接触感染

牛伝染性リンパ腫（EBL）は、**感染源をなくす**こと、又は**感染経路を断つ**ことで感染拡大を防止することができます。

しかし、清浄化のために感染牛の淘汰更新を行っても、**新たな感染（陽転率）を抑えることができなければ、清浄化を達成することは困難**です。

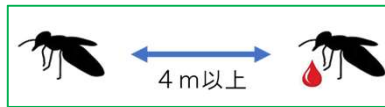


## 同居牛間での感染（水平感染）対策を始めましょう

### （１）感染牛群と非感染牛群の分離飼育

両群の間隔を4～6m以上設けましょう。または、牛群間に空房を設置したり、距離を保てない場合には高さ2m以上の板やネット等の障害物を設置しましょう。

※吸血昆虫による感染は、感染牛から吸血後、口器に付いた血液が乾燥しないうちに非感染牛から吸血することを繰り返すと成立するが、飛翔中に口器の血液が乾燥すると感染は成立しないとされています。



### （２）吸血昆虫（アブ、サシバエ）対策

薬剤散布やアブトラップ設置等の駆除により、吸血昆虫の数を減らしましょう。

また、感染牛への忌避剤散布や塗布を行ったり、感染牛群と非感染牛群の間にネット（網目の目安：アブ1cm、サシバエ2mm）を設置しましょう。高さが2m以上あると効果的です。

### （３）人為的感染の防止

注射針や直検手袋は1頭ごとに交換しましょう。また、耳標・鼻環の装着、除角、去勢及び削蹄などの出血を伴う作業に使用した器具は、1頭ごとに水洗・逆性石けん液等で洗浄・消毒を行いましょう。

## 導入牛の対策も忘れずに！

牛伝染性リンパ腫ウイルス遺伝子が検出されるまでに感染から約1か月間、抗体が検出されるまでに約2か月間かかります。

したがって、非感染牛を導入した場合でも、導入後は検査するまで隔離飼育を行い、導入後は確実に検査を実施しましょう。

また、検査後には、検査結果をもとに必要な対策を行うことが重要です！

※農場毎に対策は万別です。お気軽に家畜保健衛生所までお尋ねください。

## 海外悪性伝染病発生状況

### 近隣諸国における海外悪性伝染病発生状況

病名	型	発生地（国）	畜種	発生年月日
高病原性 鳥インフルエンザ (HPAI)	H5N2	台湾	家さん	令和4年4月16日
	H5N1	フィリピン	家さん	令和4年4月12日
アフリカ豚熱 (ASF)		韓国	豚	令和4年5月26日
		タイ	豚	令和4年5月10日
		マレーシア	豚	令和4年4月7日
		ロシア	豚	令和4年5月7日

令和4年(2022年)5月31日現在

### 通報

家畜の異常を発見された場合はご連絡ください。  
天草家畜保健衛生所 電話番号0969-22-3668

毎月20日は「くまもと家畜防疫の日」

